

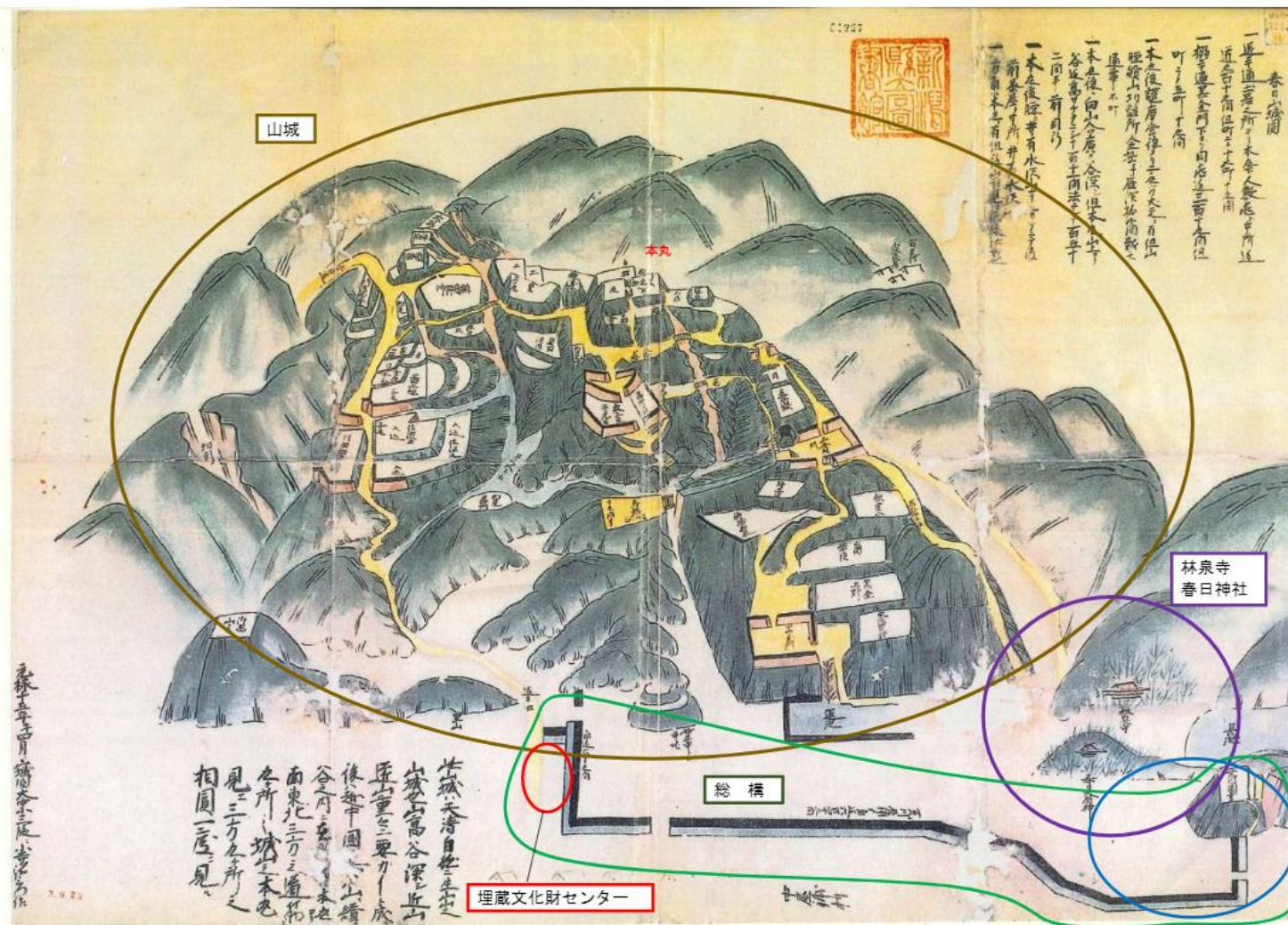
4 春日山地域の現状

○ 主な歴史文化資源



春日山地域：歴史から見る春日山城の構造

○ 古絵図には、山城の建物などは残っていないが、時代は変わっても地域の人たちの手で城跡遺構や周辺の神社仏閣などは変わらずに現在に継承されていることが分かる。

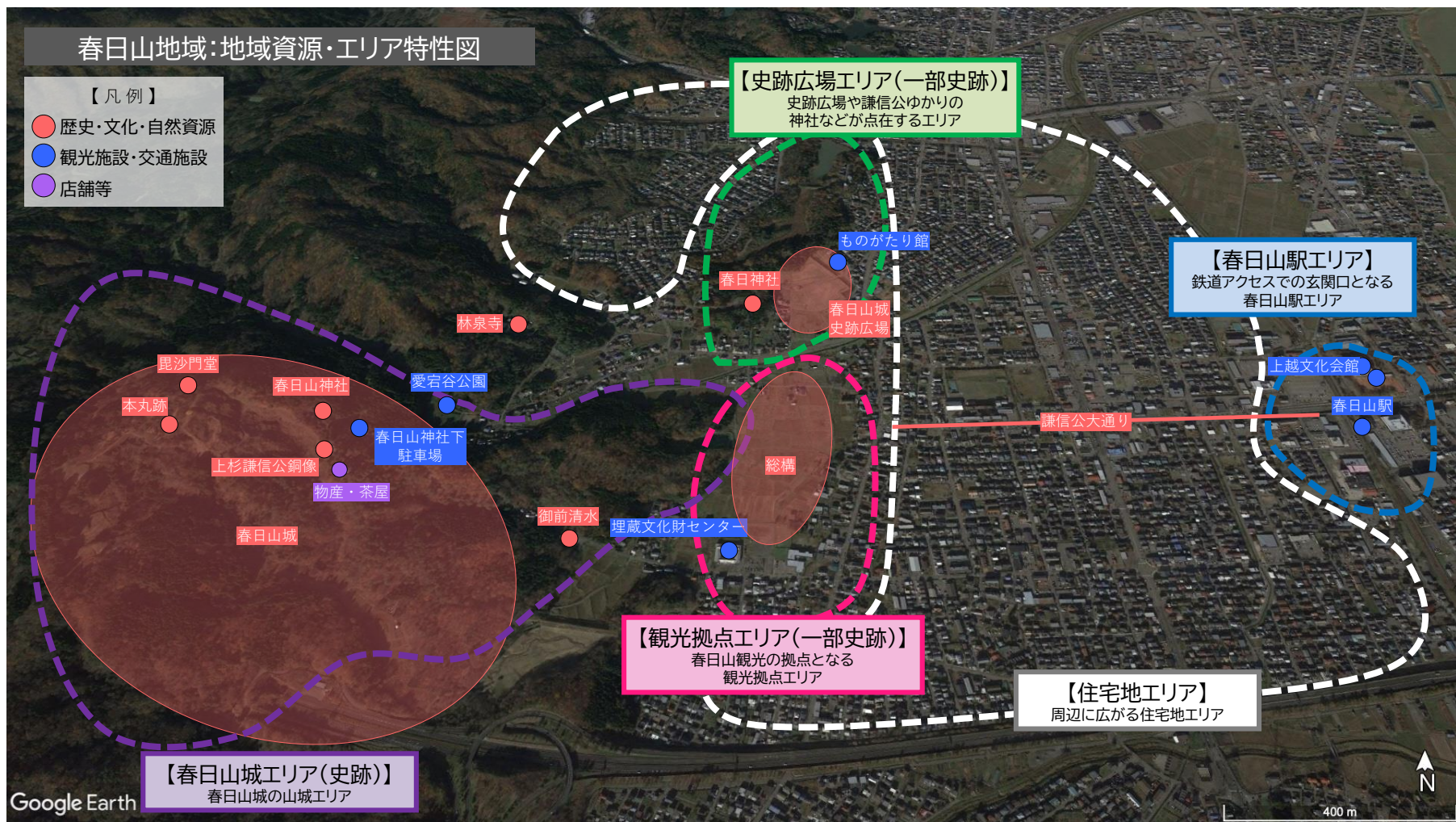


元禄15年(1702)新潟県立図書館蔵

「春日山城図」(新潟県立図書館蔵) ※「越後佐渡デジタルライブラリー」からの転載

春日山地域：地域資源・エリア特性

- 春日山城を中心としてエリアごとに様々な特徴を有しており、エリアに沿った活性化の方向性の検討が必要である。
- 特徴のあるエリアごとの強みをいかながら、春日山地域全体としての魅力づくりが必要である。



- 春日山地域のポテンシャルをまとめると下記のとおりである。
- これらの資源は、春日山地域のコンセプト検討の核となる本質的要素であるとする。

●上杉謙信公の居城の歴史

- ・越後府中の要害として築かれ、謙信公・景勝公・堀氏が整備を進めた、規模が極めて大きい山城
- ・戦国の名将・上杉謙信公の居城として知名度が高い。
- ・標高180mの春日山に築かれ、東西南北に2km程度、削平地が200か所、数十か所の堀切や土塁など、日本を代表する山城



●豊かな自然と景観の山城

- ・春日山城は歴史的な史跡であるとともに、自然豊かな山であり、規模的にも春日山神社から30分程度で本丸へ登られるなどトレッキングとしても良い環境である。
- ・麓から地域のシンボルの山としても、山頂からの眺望も、どちらも美しい。
- ・謙信公が見た頸城野の風景



●戦国の名将・上杉謙信公

- ・戦国武将として人気極めて高い上杉謙信公は、武田信玄と5回にも及ぶ川中島の合戦を展開するなどの宿敵であった。
- ・信仰深い顔も持っており、毘沙門天の信仰や高野山金剛峯寺や京都大徳寺などへの参詣なども知られている。
- ・市民にとって地域の誇りとなっている。
- ・春日山は謙信公のふるさとであり墓所



●歴史と縁ある周辺の神社仏閣

- ・春日山の周辺には、上杉家の氏神の春日神社や謙信公が少年時代に修行した林泉寺、謙信公を祭神とする春日山神社など、謙信公ゆかりの神社仏閣や寺院に関わる地名が点在している。



●謙信公の義の精神と勝負強さ

- ・領土的野心での戦は一度もなく、救援を請われて戦ったといわれるほど「義」に篤い武将で、敵の信玄方に塩を送ったといわれている。
- ・軍神としても知られ、69戦43勝24分2敗で、勝率は9割7分という勝負強さを持つ武将であった。



●謙信公を中心とした地域活動

- ・謙信公祭などのイベントや越後上越 上杉おもてなし武将隊、観光ガイド、謙信公を学ぶ市民活動など、謙信公を中心とした地域活動が活発に行われている。

